

令和7年7月24日
一般社団法人RCF

第28回 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 議事概要

■日時：令和7年7月16日（水）17:00-18:00

■場所：Teams

■参加者

<幹事団体>

別紙「幹事会（オンライン）参加団体」参照（赤字は当日の変更箇所）

<事務局>

内閣府 孤独・孤立対策推進室

参与 大西 連

室長 成松 英範

参事官 村瀬 剛太

参事官 堀江 典宏

企画官 土屋 皓嗣

参事官補佐 荒川 裕美

参事官補佐 吉田 康祐

主査 山村 吾郎

主査 今橋 知宏

主査 亀岬 里紗

主査 渡瀬 優輝

室員 玉田 瞳

室員 萩原 裕子

室員 中瀬 大陽

一般社団法人RCF

前田 絵麻、石橋 純、末松 卯衣

■意見交換要旨

(1) 分科会等

・分科会1について

鈴木様）令和7年度の取組イメージとしては昨年度作成したこども向けテキストの展開、養成講座のさらなる発展を目指した取り組みの2点を考えており、前者については学習指導案や講師用テキストの検討、小学校高学年から中学生向けの養成講座の試行実施をすすめていく予定である。後者について昨年度からの引き続きの内容とともに、今後のサポーター養成講座の充実に向けて効果的な取組の視点の調査事業を検討していく予定である。また、令和7年度においては試行実施として意欲ある自治体を想定した県単位の手上げ方式で市区町村担当者の参加を募る形で、サポーター養成講座ワークショップとかを開催し、将来展望とし

てキーブロックでの開催、民間団体、会員同士も交えた交流、意見交換の機会も創出していきたい。

他出席者) 質問等なし

・分科会2について

大西様) 分科会2についてはあまりアップデートが少ないかもしれないが、中間整理以後いろいろなモデル調査事業などがあり、様々な論点もあった。その中で自助、共助、公助の範囲はどのようになっていくべきか、家族機能をどう社会化していくのかということも含めて、議論が大きく拡散していく部分もあり、今年度は射程の範囲を決めながら、実際に行われている各事業の整理やもうちょっとこういう枠組みが必要だよなみたいなのところも含めて議論ができればよいと思っている。

他出席者) 質問等なし

・分科会3について

遠藤様) 5月の強化月間にて、従来の孤独・孤立相談ダイヤルに加えて、オンラインの居場所としてSNS相談や、メタバースの試みを始め、5日間実施した。本日は5月の取組報告と今後の展望についてお話させていただく。前年度同時期の電話総数が4,839本だったのに対し、今年度は9,564本と約2倍に増加した。その背景もあるが、繋ぎとなった方が10名程度と多かったことかと思う。相談内容については「自助・互助・共助・公助」の話とも関連するが、1番多い内容は「心や体の不調」で、次に多いのは「自分の気持ちや悩みを聞いてくれる場所がないこと」だった。現状として孤独・孤立を解消するリアルな関係性を提供できる場所が少ないことから、当相談ダイヤルを心待ちにしてくださる方が徐々に増えており、数値としても約2倍に増加した。年末年始の取組について、予算や計画を考慮することにはなるが、年間を通して居場所を求めておられる方達の姿は、この相談ダイヤルを通じてかなり見えてきたと感じる。分科会3の報告資料については、来月中旬の完成を目指し作成中のため、お待ちいただきたい。

他出席者) 質問等なし

・令和7年度シンポジウムについて

井澤様) 第1回シンポジウムについては資料のとおり骨子及び企画概要が固まった。大枠として「つながりのなかで暮らす」とテーマと仮置きし、9月16日午後で実施予定のため、担当幹事のみなさまもぜひご予定いただきたい。開催は従前どおりYouTube配信とし、東京大学の犬月先生の基調講演あと、実践報告では奥田さんと社会福祉法人もやい聖友会の権藤氏に北九州市の事例を、追手門学院大学葛西先生と株式会社ノビシロの鮎川氏、NPO法人LivEqualityHUBの全国の事例を報告いただく予定として、都合3時間ほどのプログラムとすることとしている。

他出席者) 質問等なし

根岸親様) 第2回シンポジウムについては、先日の打合せでフリーに議論を行った。内容はまだ途上の段階で今回の資料には明記していないが、枠組みはご報告があった第1回シンポジウムと同じような形式で、1回目がおわったあと秋から冬にかけての実施を想定している。内容としては、リアルとオンライン双方の持つ可能性や課題、どう補完し合えるか等に

ついて深められたらと思います、オンラインとリアルどちらも知見を有する有識者からの総論的な話しのあと、事例報告を行う形がよいのではないかと話しがでているが、次回の打合せで登壇候補や構成などを詰めていく予定である。

他出席者) 質問等なし

・官民・民民連携の取組推進について

奥山様) 官民・民民連携の取組推進では、令和5年度から様々な事例を募集し、好事例を選定して取材記事を作成、紹介をしております令和6年度については2件の紹介動画と6件の取材記事の作成、紹介の調整をさせていただいた。令和7年度の取組としてもさらに幅広く募集を行って、好事例の選定をしていきたい。あわせて、今年度は誉れというか、今までのホームページの掲載だけでなく、取り上げて紹介するような機会を設けていく方向ですすめていく予定である。

他出席者) 質問等なし

・NPO法人等への調査

荒川様) 担当幹事吉田様が本日欠席のため、事務局より簡単に進捗を説明させていただく。7/15(火)に担当幹事打ち合わせを実施し、今年度の実施内容について検討を開始した。次回の幹事会にて状況を報告する予定。また、担当幹事の吉田氏から相談があったがこのNPO法人等調査だけ現在担当幹事が1団体であり、もう1団体程度加わっていただきたいとのことである。この点及び担当幹事の手上げがあればお願いしたいがいかがか。

他出席者) 意見等なし

荒川様) では、担当幹事吉田氏と相談の上、おって個別にご相談をさせていただき調整を図らせていただきたい。

(2) その他

・孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画等について

堀江様) 資料6に基づき報告

他出席者) 質問等なし

・WHO社会的つながりに関する委員会、孤独・孤立に関する駐日大使会合について

堀江様) 参考資料に基づき報告

他出席者) 質問等なし

・予算に関するご報告

土屋様) 令和7年度予算については、中間支援組織・地方公共団体向け、および、NPOモデル調査について順次交付決定採択の手続きを進めているため、次回幹事会にてご報告する予定。予算の執行や8月の概算要求について、PDCAの観点から行政事業レビューを先月実施した。政策評価に関しては、特に重点計画に重きを置いて取り組む。エビデンスに基づく評価検証を通じた取り組みの推進にも関わるため、現在はホームページ上に概要のみ掲載されているが、今後は詳細の議事録も掲載する予定。

以上

**孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム
幹事会(オンライン)参加団体**

団体名	出席者 (⇒代理出席又は欠席)	幹事 会へ 一任
全国社会福祉協議会	村木 厚子(むらき・あつこ)会長 ⇒代理出席 水谷 詩帆 地域福祉部副部長	—
全国社会福祉法人経営者協議会	磯 彰格(いそ・あきただ)会長 ⇒代理出席 宮内良樹 法人振興部副部長	—
認定NPO法人日本NPOセンター	吉田 建治(よしだ・けんじ)事務局長 ⇒欠席	○
NPO法人新公益連盟	小沼大地(こぬま・だいち)代表理事 ⇒代理出席 井澤徹 孤独・孤立担当 加藤健 事務局長	—
NPO法人あなたのいばしょ (SNS相談コンソーシアム)	根岸 督和(ねぎし・まさかず)理事長 ⇒代理出席 大島拓人 事務局長 鈴木ひかり 広報課長(オブザーバー出席)	—
NPO法人自殺対策支援センターライフリンク	清水 康之(しみず・やすゆき)代表 ⇒代理出席 根岸親 副代表	—
一般社団法人 日本いのちの電話連盟	堀井 茂男(ほりい・しげお)理事長 ⇒代理出席 永井恵 事務局長	—
一般社団法人 社会的包摂サポートセンター (よりそいホットライン)	遠藤 智子(えんどう・ともこ)事務局長	—
一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク	奥田 知志(おくだ・ともし)共同代表 高橋 陽佑 氏(オブザーバー出席)	—
認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ	湯浅 誠(ゆあさ・まこと)公共政策アドバイザー ⇒欠席	○
一般社団法人 全国フードバンク推進協議会	米山 廣明(よねやま・ひろあき)代表理事	—
認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ (シングルマザーサポート団体全国協議会)	小森 雅子(こもり・まさこ)理事長	—
NPO法人全国女性シェルターネット	北仲 千里(きたなか・ちさと)共同代表	—
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会	奥山 千鶴子(おくやま・ちづこ)理事長	—